

ガラスの塊～キャスト(鑄造)による造形

Solid Glass Forms : Casting

傷つきやすく繊細なことを、「ガラスのような」と言いあらわすことはありませんか？これは、私たちがガラスに対して、脆くて壊れやすいものというイメージを抱いているために、使う表現ですよね。たしかに、ガラスはその透明感や輝きとともに、脆さや繊細さという特徴をもっています。そして、それらはすべてガラスという素材の魅力に結びついているともいえるでしょう。

でも、そうしたイメージとはちょっと違う表情のガラスだってあるのです。今回紹介するのは、まるで彫刻のような重量感を感じさせるガラスの数々。溶かしたガラスを、作家がつくった型に流し込んで成形する、「キャスト(鑄造)」と呼ばれる技法を用いた作品をとりあげます。

この技法でつくられたガラスは、自由に形づくられた彫刻的な形態と、塊状の重量感を特徴としています。ガラスを芸術表現のための素材として選び、その可能性を追究している現代のガラス造形作家たちには、とくに好んで用いられている技法のひとつといえるでしょう。彼らは、光の透過性、輝き、可塑性といったガラス固有の性質をいかしながらも、この技法によって、ダイナミックで存在感のあるガラス作品を発表しています。抽象彫刻のような力強い造形や、建築的な構造の作品は、脆くて華奢なものというガラスのイメージを一新する魅力にあふれています。キャスト技法によって、表現の可能性を大きく切り拓いた現代ガラスの豊かな造形世界をぜひごらんください。

No.	作家名	作品名	制作年	材質：技法
1	スタニスラフ・リベンスキー / ヤロスラヴァ・プリフトヴァ	球体の中の立方体	1979～90	ガラス：キャスト、研磨
2	スタニスラフ・リベンスキー / ヤロスラヴァ・プリフトヴァ	接触	1985	ガラス：キャスト
3	スタニスラフ・リベンスキー / ヤロスラヴァ・プリフトヴァ	頭 89	1989	ガラス：キャスト
4	イヴァン・マレシュ	悪夢	1990	ガラス：キャスト、カット、研磨
5	イヴァン・マレシュ	卵	1997	クリスタルガラス：キャスト・部分的にカット
6	ギゼラ・シャボーコヴァ	最後の門	1992	ガラス：キャスト、着色、カット
7	リハルト・チェルマーク	ラミア	1994	ガラス：キャスト、部分的にカット、研磨
8	ベルナルド・ドゥジョング	白の上昇	1997	光学ガラス：キャスト、フュージング、失透、のみによる研削、研磨
9	ベルナルド・ドゥジョング	円環	1994	光学ガラス：キャスト、研磨、失透
10	ハワード・ベン・トレ	栓	1990	ガラス、鉛の粉末：キャスト
11	ハワード・ベン・トレ	るつぼ	1990	ガラス、鉛の粉末：キャスト
12	ハンク・ムルタ・アダムス	王冠を戴いた頭	1991	ガラス、銅：キャスト
13	ロバート・パルスキー	生は暑い夏の日のように彼のものを過ぎ去った	1987	ガラス：キャスト、接着、着色、サンドブラスト
14	スティーヴン・ワインバーグ	無題 # 580502	1985	ガラス：キャスト、カット、研磨
15	ベッティル・ヴァッリー	静かなる旅	1985	ガラス：サンドキャスト
16	コリン・リード	無題 鑄型R290	1988	ガラス：ロスト・ワックス、研磨
17	塩谷直美	嵐の予感	2001	ガラス：キャスト、サンドブラスト、研磨
18	扇田克也	ワタシノアヲゾラ	1991	ガラス、銀箔：キャスト、サンドブラスト
19	扇田克也	アメノヒモアル	1991	ガラス、銀箔：キャスト、サンドブラスト